



B.P.S.
BIOMETRIC PAYMENT SYSTEMS

ICO WHITEPAPER



導入

デジタル決済は急成長している分野であり、2026年には13.8兆米ドル（13.8兆）の収益が見込まれている。一方、

現在、世界には約20億人もの人々が自身の銀行口座を持っておらず、これは事業拡大にとって大きなチャンスとなる。

キャッシュレス決済の急速な普及は、サイバーセキュリティに対する高い要求を突きつけている。生体認証は、この課題に対する究極の解決策と言える。ヨーロッパ人の3分の2以上が、利便性とセキュリティの観点から、決済認証方法として生体認証を利用したいと考えている。

同時に、革新的なブロックチェーン技術は多くの市場で成長しており、2026年末までに480億米ドルを超える規模に成長すると予測されている。

さて、デジタル決済、生体認証、そしてブロックチェーン技術を組み合わせたものを想像してみてください。それが生体認証決済システム、略してB.P.S.です。

B.P.S.は、革新的なブロックチェーン技術と人工知能を組み合わせ、生体認証を提供する分散型で世界的に革新的な決済システムです。ユーザーはB.P.S.への参加に応じて報酬を受け取ることができ、ボーナスキャンペーンがプラットフォームの成長を促進します。

B.P.S.の発展と認知度をさらに高めるため、B.P.S.はマーケティングキャンペーンの一環として、興味深いタイプのイニシャル・コイン・オファリング（ICO）であるB.P.S.トークンを導入しました。この素晴らしいプロジェクトに参加するために必要なすべての情報は、こちらでご確認いただけます。

デジタル決済：

急成長中の分野

世界中で20億人が、携帯電話などの端末を通じて銀行口座や金融機関にアクセスできていません。デジタル決済手段は、世界中の人々が金融システムに広く参加できるようにするための強力な解決策となります。

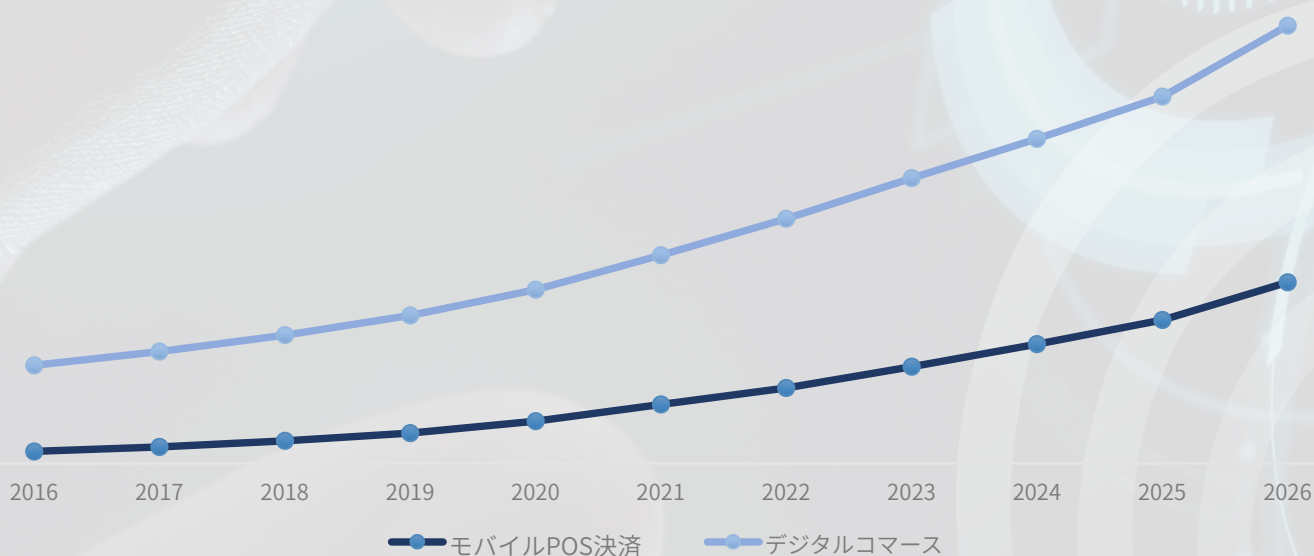
デジタル決済分野は急成長を遂げている。2018年の総取引額は5兆2600億ドルで、年率13.5%の成長率を示しており、2026年までに25兆ドル（25,000億ドル以上）を超える取引額が見込まれている。



最大のサブマーケットセグメントはデジタルコマースであり、2026年の総取引額は7兆9000億ドル（7,900億ドル）に達すると予測されている。

世界規模で比較すると、最大の取引量（2026年には3兆ドル（3,000億ドル）に達する）は中国で達成されたことは明らかである。

2026年末までに、エンドユーザーは32億人に達すると予想されており、これは世界人口の約3分の1に相当する。



デジタル決済システムの普及は拡大を続けているものの、特に少額の支払いにおいては、依然として現金が主流で利用されている。

今年のワールドペイメントレポート（WPR）は、モビリティ、コネクテッドホーム、エンターテインメント、メディアが、将来的に非接触型決済を含むキャッシュレス決済システムを代替チャネルとして活用・促進していくことを確認している。iii

セキュリティは重要な問題です

キャッシュレス決済システムの台頭は、フィンテックプラットフォームとデジタル決済の普及を著しく加速させた。電子ウォレットの取引件数が増加し、クレジットカードやインターネットバンキングの利用も増加する一方で、サイバーセキュリティも一般社会の注目を集めるようになった。

オフラインでは、泥棒は被害者が所持している金額しか盗むことができない。しかし、オンライン、つまりデジタル世界では、被害額ははるかに大きくなる可能性がある。



ブロックチェーン技術： 市場を制覇する

ブロックチェーン技術は、無数の異なる市場に適用できるため、市場を席巻している。そして、デジタル決済システムも例外ではない。

2017年、世界のブロックチェーン市場の収益は3億3950万米ドルに達すると予測されていた。2024年には43億米ドルに達すると予測され、現在では2026年には480億米ドルを超える収益が見込まれている。

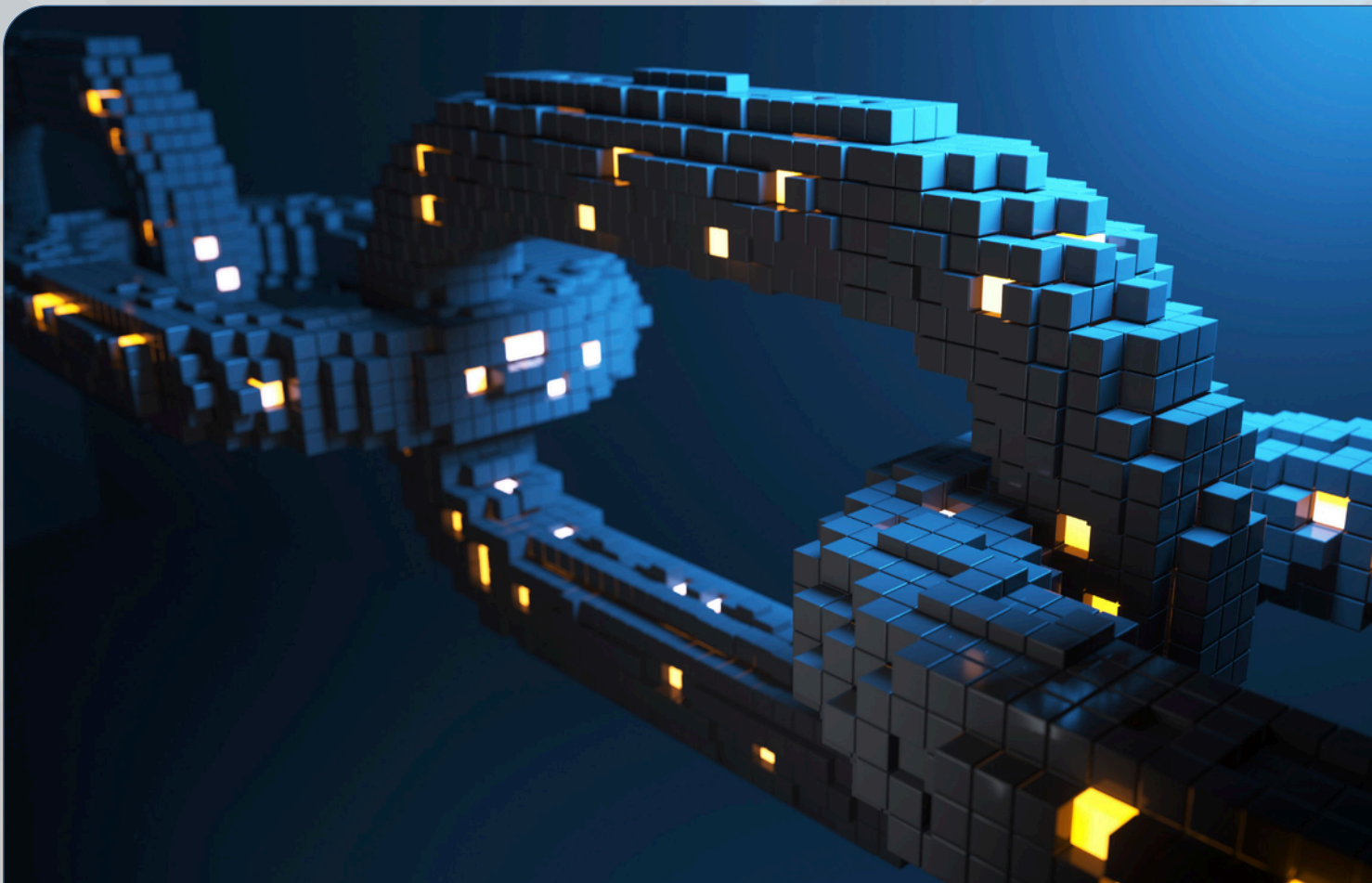
金融サービス、消費財・産業製品、テクノロジー、メディア・通信、医療、運輸、公共部門といった分野を超えて、この技術に対する需要が高まっていることが、この市場の著しい成長の要因となっている。

この市場は、新技術の登場により著しい成長が見込まれる。

- 金融機関による取引承認の排除
- 手動による口座照合の排除
- 複式簿記の排除
- 注文処理の迅速化
- エラー率の最小化。

この技術により、どこからでもデータベースにアクセスできるようになり、複数の機関が同時にデータベースを利用できるようになるほか、異なるシステム同士をより密接に連携させて相互補完し、効率性を向上させることができます。

銀行、金融機関、保険会社など、ますます多くのグローバル企業が仮想通貨を利用し、受け入れるようになっている。



生体認証

デジタル決済方法のセキュリティ基準を高めるための非常に効果的な方法の一つは、生体認証です。

生体認証は、コンピュータ科学において、本人確認およびアクセス制御の一形態として用いられます。これは、個人の身体に固有の生体情報を用いて本人確認を行い、サービス、アプリケーション（アプリ）、またはデバイスへのアクセスを許可するシンプルなプロセスです。

生体認証は、2つのデータセットを比較することによって機能します。

- **最初のデータレコードはデバイスの所有者に帰属します。2番目**
- **のデータレコードはデバイスの訪問者に帰属します。**

2つのデータセットが同一であれば、デバイスはこの「訪問者」と「所有者」が同一人物であると認識し、アクセスを許可する。

近年、生体認証は技術の進歩とアルゴリズムの改良により、広く普及している。これにより、システムはより安全になるだけでなく、より費用対効果も高くなった。

Visaの調査によると、ヨーロッパ人の3分の2以上が、利便性とセキュリティ上の理由から、決済認証方法として生体認証を利用したいと考えている。viii

B.P.S.:

究極の組み合わせ

では、デジタル決済、ブロックチェーン技術、暗号通貨、そして生体認証を組み合わせたものを想像してみてください。それが生体認証決済システム、略してB.P.S.です。

a. 仕組み

当社は、ブロックチェーン技術、生体認証、人工知能を組み合わせ、世界中のすべてのお客様とパートナーに革新的な分散型決済システムを提供します。背景、場所、収入に関係なく、B.P.S.は世界中のすべての人にシンプルで迅速な決済システムを提供し、金融システムへの幅広い参加と社会的包摂を促進します。また、地域ビジネスの成長も支援します。B.P.S.は、暗号通貨と法定通貨の両方で迅速かつ安全な決済を提供します。どこにいても、指紋で資産を完全に管理できることを想像してみてください。さらに、多くのメリットがあります。たとえば、B.P.S.は、紹介した顧客とB.P.S.トークン保有者への報酬を含む独自の紹介システムを統合する予定です。これは、コミュニティのニーズに合わせて綿密に設計されています。

b. スマートウォレット

B.P.S.スマートウォレットを使えば、誰でも書類不要で簡単かつ迅速に顧客アカウントを作成できます。基本的なアカウント開設には、指紋認証による登録、または本人確認済みの人物からの推薦が必要です。

B.P.S SmartWalletを使えば、モバイル端末さえあれば、世界中のどこからでも資産を管理できます。

スマートウォレットの利点

オールインワンサービス：

スマートコントラクトは、取引、支払い、預金、引き出し、およびピアツーピア取引を可能にする。

安全：

すべてのデータ記録は、アプリケーション（アプリ）からネットワークに送信される前に暗号化されます。

プライバシー：

アプリケーション（アプリ）に表示されるすべてのデータから、個人情報が削除されました。

シンプルさ：

シンプルで分かりやすいユーザーインターフェースにより、顧客は直感的に操作できます。

アプリ開発フェーズの主要要素

モバイルUXデザイン：

B.P.S SmartWalletはUIとUXをつなぐため、ユーザーは複雑なデジタルウォレットやプラットフォームを扱う必要はありません。

サービス：

REST API、B.P.S.エネルギー効率最適化、およびUI接続が開発されました。



- サイドチェーン互換性は、あらゆるサイドチェーンのすべてのブロック、トランザクション、アカウントを網羅するために構築されました。これにより、すべてのユーザーがすべてのトランザクションに永続的かつ透明性のある、容易にアクセスできるポイントが提供されます。
- REST APIは、モバイルアプリケーションとデータベース間の安全で暗号化された接続を提供します。抽象的なセキュリティフレームワークを介して、ユーザーインターフェースとデータベースを接続します。
- REST APIは、すべてのユーザーインターフェースからのリクエストをリアルタイムで処理し、スマートコントラクトを介してブロックチェーンと連携します。
- REST APIは、法定通貨決済ネットワークにおける取引の実行と、内部決済確認のためのWebhookの受信という機能を備えています。

データベース:

私たちはオープンソースの文書指向型データベースを使用する予定です。

MongoDBは、認証、ネットワーク分離、暗号化を保証するために使用されます。これは、完全に柔軟でネイティブなブロックチェーン構造であり、それを支えるソリューションです。

Mongoはゼロから構築され、拡張性も備えており、すぐに利用可能です。ロールベースのアクセス制御により、データのセキュリティが確保されます。

MongoDB Atlasは、最高水準のプライバシーとコンプライアンス基準を満たすよう独自に開発・検証されています。B.P.S.はMongoDBに加え、強力なオープンソースでACID準拠のシステムであるPostgreSQLも統合しています。

15年以上にわたる開発を経て、PostgreSQLは市場で高い評価を得ており、信頼性、完全性、そしてパフォーマンスの代名詞となっています。

c. 指紋認証

指紋認証は、従来の認証方法と比較して多くの利点があるため、一般の人々の身元確認や認証において優れた選択肢となる。

なぜ指紋認証を選んだのか？

最も発展した生体認証方法の一つ

指紋認証は、長年にわたり、捜査官、開発者、そして顧客にとって好ましい認証方法であり続けてきた。指紋認証ほど注目を集めた生体認証方法は他にない。

指紋は小さな表面で、これをスキャンします。指紋スキャナーやスマートフォンでもスキャンできます。他の生体認証ソリューションとは異なり、指紋をスキャンするためにポーズをとる必要はありません。

同じ指は二つとない。

指紋は皮膚の隆線によって形成されます。これらの隆線は、胎児が子宮内で発育している段階から確認できます。2本の指の隆線は全く同じではありません。全く同じ指紋はこれまで発見されたことはありません。双子でさえ指紋は異なり、同じ人物であってもすべての指の指紋は異なります。

指紋は紛失したり複製したりすることはできません。また、たとえ指が切断されたとしても、それを検知して即座にアクセスを拒否する追加のセキュリティ機能をB.P.S SmartWalletに組み込んでいます。

指紋は年齢によって変化しない

指紋は時代を超越するものです。皮膚の隆線は出生前の胎内で形成され、死後も残ります。その品質は生涯を通じて変化しません。指紋は高度な生体認証特性であり、私たちが認証に指紋を選択する十分な理由となっています。

非常に速い

指紋認証は簡便なため、ユーザーのアクセス権限の付与または拒否が数秒以内に行われます。これにより、ユーザーとプロバイダー双方の時間を節約できます。指紋認証は、あらゆる「疑わしいケース」を排除します。

B.P.Sスマートウォレットにおける指紋認証の仕組みは？

SmartWalletはユーザーのプライバシーを厳重に保護します。すべてのデータは暗号化され、ユーザーのハードウェアにのみ保存されます。これにより、不正使用を防ぎ、信頼関係を必要とせずにアプリケーションを安全に利用できます。

ユーザーがB.P.S SmartWalletアプリケーションを開くと、非対称鍵ペアが作成され、当社のバックエンドデータベースに送信され、ユーザーは指紋認証によって本人確認を行うよう求められます。



バックエンドデータベースは、データをチェックして確認し、公開鍵を検証してユーザー取引を認証します。

ユーザーが指紋認証を有効化して、例えば商品やサービスを購入する際、バックグラウンドで暗号化された保管庫が開かれる。

認証が正常に完了すると、署名済みのデータシートはトランザクションにリンクされ、バックエンドデータベースに送信されます。このデータベースは、今回初めて発行される公開鍵を使用して、署名済みのデータシートを検証します。

d. 複数段階の認証

指が切断された場合や、故人の指を使って不正アクセスを試みた場合でも、それを防ぐための特別な仕組みを導入しています。パスワードとは異なり、指紋は変更できません。もし泥棒が指を入手した場合、その指紋はあらゆる場所で悪用される可能性があります。

ユーザーは、指紋を紛失した場合のように、従来のパスワードのように指紋を変更することはできません。

しかし、生体認証は、他の高度な認証手順と組み合わせることで、強力なソリューションとなり、最高レベルのセキュリティを提供します。

MFA（多要素認証）は、ユーザーアカウントへの侵入を極めて困難、あるいは不可能にする。

当社では、生体認証（特に指紋認証）と、PIN、SMS、セキュリティ質問などの従来から実績のある認証方法を組み合わせることで、プラットフォームの絶対的なセキュリティを確保しています。

e. BPS推薦システム：成長の加速

成長を加速させるために貢献してくれる方々に報奨金や報酬を提供することで、顧客数の増加、そして当社のビジョンや製品に対する熱意の高まりにつながると考えています。これは、流動性の向上と取引量の増加にもつながるでしょう。

ローンチ期間中、B.P.Sプラットフォームのユーザーは、登録してB.P.Sスマートウォレットを作成する際、初めて取引所を利用する際、友人を紹介する際、そして継続的な改善のために設計されたフィードバックフォームに記入する際に、報酬や特典を受け取ることができます。

ここでは、独自のB.P.S.推薦システム（バウンティ）の仕組みについて詳しく説明します。これは、2つのレベルに限定された推薦システムに基づいています。

例えば、あるウォレットが別のウォレットに取引（100%）を行うと、99%が受け取られます。

■ **0.6%はグローバル財務省に充当される。**

■ **0.1%は、そのチャンネルを推薦したユーザーに支払われます。**

■ **0.1%は、送信者を紹介したユーザーを紹介したユーザーに支払われます。**

推奨

■ **0.1%は、受取人を紹介したユーザーに支払われます。**

■ **0.1%は、受取人を紹介したユーザーを紹介したユーザーに支払われます。**

推奨

ICO期間中にダッシュボードでB.P.S.トークンを予約するか、B.P.S.スマートウォレットを他の人に紹介することで、参加が保証されます。ユーザーは、顧客アカウントまたはダッシュボードで、いつでも紹介状況、紹介者数、収益を確認できます。

f. B.P.Sトークン (BPST)

私たちの目標は、B.P.S.エコシステム内で、私たちを支援してくださるパートナー企業にB.P.S.トークンを配布することです。パブリックセール／ICO完了後、B.P.S.トークンは様々な取引所で取引可能になるほか、非公開で取引したり、保有したりすることもできます。

当プラットフォームの最大の付加価値は、その背後にある有望なビジネスモデルにあります。B.P.S.システムは、B.P.S.トークンとの相乗効果によって成長していく決済システムとなるでしょう。

g. アトミックスワップ

一般的に、暗号資産取引所は少なくとも「半中央集権型」であり、資産は取引所が顧客に代わって保有しています。完全分散型取引所への動きは既に始まっており、B.P.S.はこの技術開発において重要な主導的地位を確立することを目指しています。B.P.S.チームは、アトミックスワップのアプローチを採用し、通信を通じて異なるブロックチェーン間で連携するSolana、Polkadot、Cosmosの開発を高く評価しており、これは将来的に重要な発展となるでしょう。

B.P.S.は、第三者を介さずに、スマートコントラクトを介してアトミックスワップで保護された通貨間のピアツーピア交換を提供します。スマートコントラクトはデジタルエスクローエージェントとして機能し、取引中の両当事者の保護を保証します。

このプロセスにより手数料はほぼゼロに抑えられ、小口取引が可能になり、即時約定が保証されます。

INITIAL COIN OFFERING (ICO):

あなたにとってのチャンス
お見逃しなく

成長と発展を加速させるため、B.P.S.は有望なイニシャル・コイン・オファリング（ICO）キャンペーンを開始しました。主な特徴は以下のとおりです。



a. 総供給量

- 総供給量：1億5000万
- トークンの33%は、創業者、初期投資家、開発およびマーケティング担当者に割り当てられる。
- 先行販売は無料で、最初の25,000,000 B.P.S.が対象となります。利用可能な合計1億BPSトークンのうち、予約済みのトークン数。
- ICOの一環として、7500万トークンが一般販売で提供される予定です。

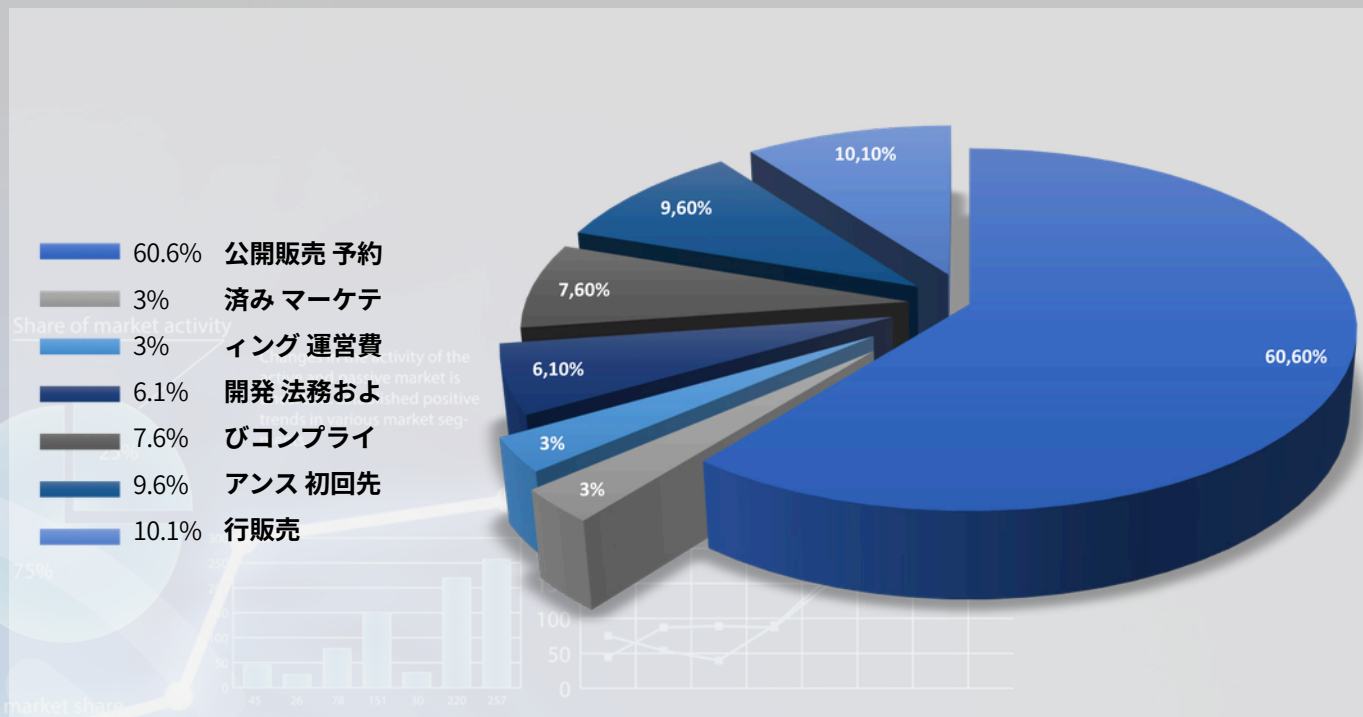
固定発行価格

私たちは、B.P.S.のビジョンを早期に認識した人々に優位性をもたらしたいと考えています。

このため、最初の25,000,000 B.P.Sトークンのプレセール予約フェーズにおけるB.P.Sトークンの早期予約価格を、1BPSTあたり1ユーロに設定しました。

パブリックセール/ICOでは、さらに25,000,000 B.P.Sトークン（BPST）が2ユーロの予約価格で提供され、その後さらに25,000,000 B.P.Sトークン（BPST）が予約価格で提供されます。3ユーロと、最後の25,000,000 B.P.Sトークン（BPST）が、5ユーロの予約価格で提供されます。

b. トークンの配布



c. 資金の使途

- 41% - 開発
- 27% - マーケティング&セールス
- 16% - オペレーション
- 11% - 法務関連費用
- 5% - ボーナスおよび準備金

d. 紹介および報奨金制度

3段階の推薦システムは、連絡先やソーシャルメディアを通じて友人や知人を招待したり推薦したりするユーザーに報酬を与えるための重要な要素です。

元のユーザーは以下を受け取ります：

B.P.S.トークンの予約の30%は直接紹介によるもので、10%は間接紹介（第2階層）によるもので、5%は間接紹介（第3階層）によるものです。



ロードマップ：

プロジェクトのアイデア

2017

B.P.S.のアイデアは、創業者がガールフレンドとビーチにいて泳ぎたいと思った時に生まれました。唯一の問題は、お金をどこに預けるかということでした。海に浮かぶバーで一杯飲むなんて最高だろうけど、どうやって支払うんだろう？

解決策は、常に指紋を携帯することです。そして、自分で選んだ暗証番号と組み合わせれば、完全に安全で、複製不可能であり、誰も盗んだり悪用したりすることはできません。

このアイデアはその後拡張され、B.P.S（生体認証決済システム）へと発展した。

コンセプトとMVP

2018年3月

プロジェクトの構想、要件定義、およびベータ版としてリリース可能な最小実行可能製品（MVP）の作成。

ホワイトペーパーのコンセプト

2018年12月

技術文書の作成、設計、およびホワイトペーパーの草稿作成。

トークンおよびクラウドセール向けスマートコントラクトの開発

2019年6月

ERC20トークンが作成され、配布プログラムが準備されました。

ICOダッシュボードの設計および開発
2019年9月

1. デザイン
2. 認証（2要素認証有効）
3. 仮想ウォレットが残高を管理します
4. 様々な通貨での資金の入金
5. ダッシュボードでトークンを購入する
6. クレジット残高とトークンの交換
7. すべてのUIコンポーネントが相互に作用する
REST API を利用できるユーザー。

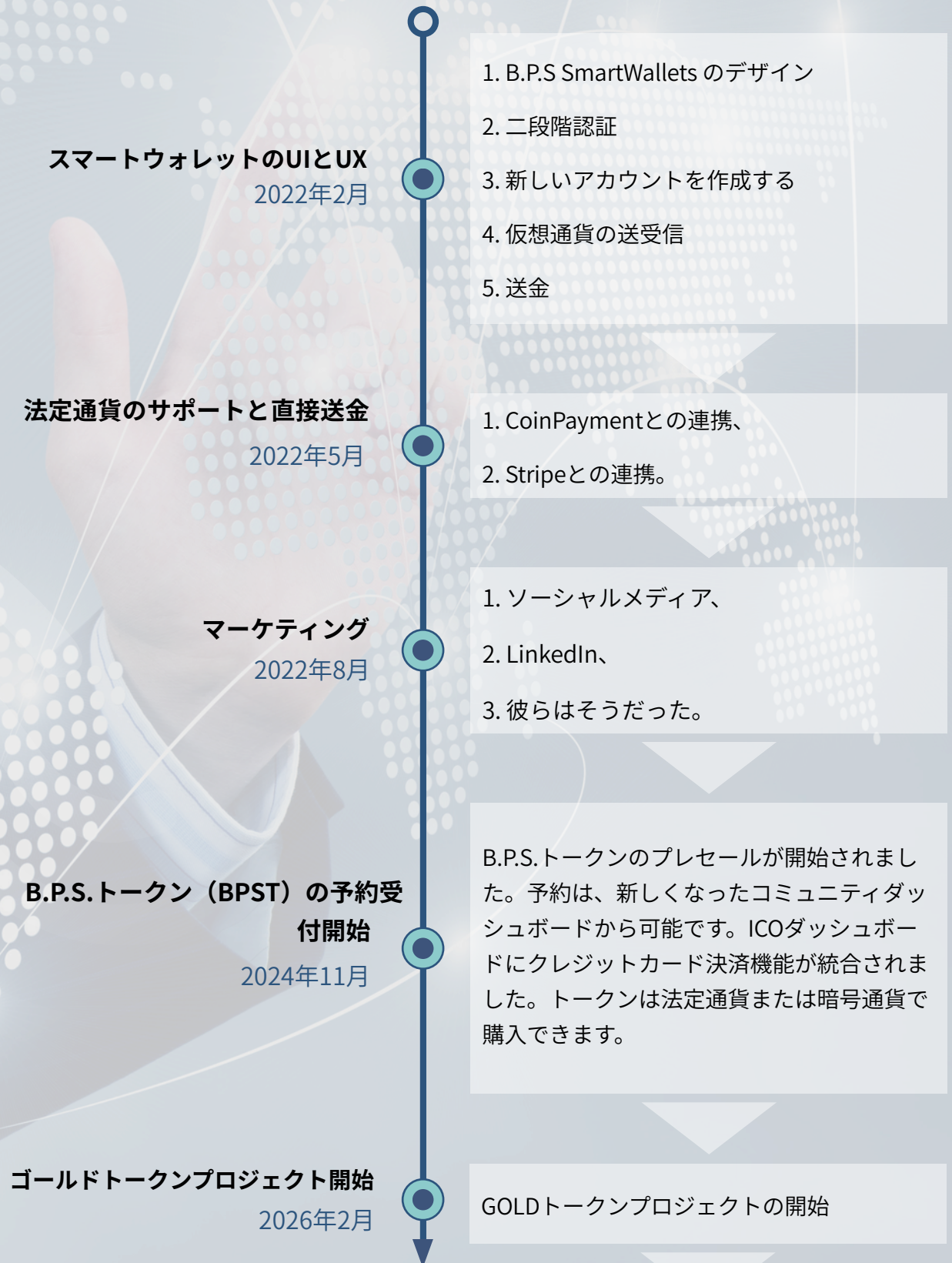
硬貨システムの開発
2021年2月

1. コントローラーとしてのREST API :

- スマートコントラクトの統合
- UIとデータベースの連携
- パートナー企業との連携
(CoinPayments、Bitgo、CoinBase)
- モバイルエンドポイントはモバイルアプリからのリクエストを処理します

2. デーモン:

- リアルタイムの仮想通貨価格投票
- 取引と残高の照合
- データベースにおける契約データの照合。今後のさらなるアプリケーションのために、追加のデーモンが必要となる予定です。



B.P.Sスマートウォレット ベータ版開始
2026年5月

個人のお客様および中小企業向けのB.P.Sスマートウォレットのベータ版をリリースしました。

**独自の非接触型・システム統合不要
のオンラインショッピング向けソリューション**
2026年7月

オンラインショップ統合システムの導入。
行列に並ばず、レジ係も不要で決済が可能。

これはショッピング体験に革命をもたらし、特にパンデミックの間は、安全で非接触型の決済方法となるでしょう。

BTMがヨーロッパでスタート
第4四半期 | 2026年

ヨーロッパ全域における仮想通貨および法定通貨の入出金に対応する5000台のBTM ATMの開発と段階的な設置。

主要取引所への上場
2027

B.P.Sトークンは最初の取引所に上場されました。

チーム：

Oliver Bösch

創業者兼社長

Shivam Sharma

開発責任者

Raju Maresahi

AI開発者

Günther Luitz

ゴールド & シルバーアドバイザー

Vlad Burian

共同創業者兼アドバイザー

Razvan Stefanescu

アドバイザー

Emilia Vaidasigan

ウェブデザイン責任者

Igor Milos

暗号通貨コンサルタント

Sandeep Verma

シニアバックエンド開発者

Ashwani Maddeshiya

フロントエンド開発者

Auresh Saxena

テクニカルマネージャー

Ajay Gupta

ソリューションアーキテクト

Gerhard Gollnick

国際営業マネージャー

Abhilash Sharma

品質保証責任者

Tibi Barkoczi

アプリ開発者

Adrian Stoian

ブロックチェーンコンサルタント

Mircea Chetan

ウェブ開発者

Konika Prabhakar

UI/UXリード

Ajay Tarpara

モバイル開発者

Juri Prieb

ブランド & メディアディレクター

法的通知免責事項

このホワイトペーパーは情報提供のみを目的としており、内容は随時変更される可能性があります。

B.P.S. は、本ホワイトペーパーから導き出される記述または結論について、いかなる保証も責任も負いません。B.P.S. は、いかなる場合においても、いかなる種類の約束または保証も行いません。これには以下が含まれますが、これらに限定されません。

- **すべての計算と予測（市場状況に左右される）**
- **本文書の内容は正確かつ完全であり、誤りがないことを保証します。**
- **当該コンテンツは第三者の権利を侵害するものではない。**

B.P.S.は、本ホワイトペーパーの内容の使用、引用、または利用に起因するいかなる種類の損害についても、一切の責任を負いません。本ホワイトペーパーには、第三者のデータおよび公開されている出版物への参照が含まれている場合があります。B.P.S.の知る限り、本ホワイトペーパーに記載されているすべての情報は最新かつ根拠に基づき、真実です。しかしながら、提供される情報の正確性および完全性を保証することはできません。本ホワイトペーパーで使用されているすべてのデータは信頼できる情報源から得られたものですが、当社による検証や独立した監査は行われていません。

本ホワイトペーパーは、B.P.S.、その創設者、役員、取締役、管理者、従業員、代理人、コンサルタント、または使用人が、本ホワイトペーパーの受領者または関心のある当事者に対し、B.P.S.トークンの予約のためのプレセールまたはパブリックセールへの参加を推奨または助言するものではありません。B.P.S.トークンの予約のためのプレセールまたはパブリックセールへの参加には重大なリスクが伴い、資金の全部または一部を失う可能性があります。

B.P.S.トークンの将来のパフォーマンスや価値については、いかなる約束もなされません。特に、継続的な価値、継続的な支払い、またはB.P.S.トークンが現在の価値を維持するという保証は一切ありません。B.P.S.トークンは、公開販売/ICOが完了し、すべてのB.P.S.トークンの予約がエアドロップを通じて参加者に配布されるまで、取引できません。

B.P.S.トークンの予約販売および/またはパブリックセール/ICOへの参加を検討されている方は、B.P.S.ビジネスモデルの背景と関連するリスクを十分に理解していない限り、B.P.S.トークンのプレセールおよび/またはパブリックセール/ICOへの参加は固くお断りいたします。

本ホワイトペーパーは目論見書または募集要項を構成するものではなく、いかなる金融商品についても、販売の申し出、投資の勧誘または募集を行うものでもありません。B.P.S.トークンは、投機目的または投資目的で、収益を期待して購入することを意図したものではありません。本ホワイトペーパーに掲載されている情報は、いかなる規制当局によっても審査または承認されていません。また、いかなる法律、規制、規則にも拘束されることはありません。



参考文献

- i Camilla Hodgson, Business Insider, “The world’s 2 billion unbanked, in 6 charts” from <http://uk.businessinsider.com/the-worlds-unbanked-population-in-6-charts-2017-8>
- ii Statista, “Digital Payments” from <https://www.statista.com/outlook/296/100/digitalpayments/worldwide>
- iii Capgemini, “Digital payments volumes continue to rise globally as new payments ecosystem emerges” from <https://www.capgemini.com/news/digitalpaymentsvolumes-continue-to-rise-globally-as-new-payments-ecosystememerges/>
- iv Sirish Kumar, CXO Today, “Security in Digital Payments: Urgent Need for Focus” from <http://www.cxotoday.com/story/security-in-digital-payments-urgentneed-for-focus/>
- v Thales Security, “Innovation and security in the digital payments world” from <https://www.thalesecurity.com/resources/webinars/innovation-and-securitydigitalpayments-world>
- vi Statista “Size of the blockchain technology market worldwide from 2016 to 2021 (in million U.S. dollars)” from <https://www.statista.com/statistics/647231/worldwideblockchain-technology-market-size/>
- vii Grand View Research, “Blockchain Technology Market Size Worth \$7.59 Billion By 2024” from <https://www.grandviewresearch.com/press-release/globalblockchaintechnology-market>
- viii Finextra, “Europeans keen to secure payments with biometrics” from <https://www.finextra.com/newsarticle/29171/europeans-keen-to-secure-paymentswithbiometrics>



